

事業シート(令和2年度予算)

事業名	94700 市内遺跡発掘調査事業費	予算	会計	1	一般会計	総合計画	まちづくりの方向性	2	心身の健康と文化、教育で心豊かな暮らしを実現する	市長公約	多様な文化遺産の保存と利活用による地域活性化を進めます。
			款	9	教育費		まちづくり戦略	(5)	歴史伝統の保存、継承、活用		
			項	4	社会教育費		根拠計画		教育振興基本計画		
			目	7	文化財費						
担当課	教育委員会事務局 文化財課	内線	2356								

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	<ul style="list-style-type: none"> 埋蔵文化財を保護し次代に伝える。 県指定史跡の国指定への格上げ 	概要	<ul style="list-style-type: none"> 開発事業により影響を受ける埋蔵文化財を記録保存する。 保存活用の必要な遺跡の内容を確認する。 国指定に向けた調査の実施
----	--	----	---

総合計画等 主な指標	H30実績	H31実績	R6目標

2.事業の実施結果等(Do)

歳出事業費 (職員人件費を除く)		H30		H31		
		最終予算	決算(a)	当初予算(c)	最終予算	決算(b)
		2,140	1,707	2,180		
特定財源	国費(埋蔵文化財発掘調査事業費1/2)	1,070	842	1,090		
	県費					
	その他					
一般財源		1,070	865	1,090		
個票枝番	主な事業内容					
	試掘・範囲確認調査、整理	1,880	1,610	1,870		
	松倉城跡・広瀬城跡等の国指定に向けての調査					

4.令和2年度予算編成(Action)

R2予算		実施計画額		1,900
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減(d)-(c)	
2,475	1,900	1,900	△ 280	
1,237	950	950	△ 140	
1,238	950	950	△ 140	
査定額	説明			
530				
1,280				

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.平成30年度事業実績、評価等(Check) R1.8実施

事業実績	・飛騨国分寺跡、馬場遺跡、十王堂遺跡等の試掘等確認調査の実施
評価等	・開発事業に伴う埋蔵文化財包蔵地の照会対応、試掘調査等を実施し、埋蔵文化財保護を推進した。
次年度以降の考え方(担当課)	<input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> H30完了 <input type="checkbox"/> H31完了予定

5.平成31年度事業実績、評価等(Check) R2.8実施

事業実績	
評価等	
次年度以降の考え方(担当課)	<input type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> H31完了 <input type="checkbox"/> R2完了予定

担当課 予算要求 ポイント	<ul style="list-style-type: none"> 開発事業などに対応するための緊急目的の発掘調査に必要な経費を計上 調査指導委員会の指導等による松倉城跡の発掘調査に必要な経費を計上
---------------------	--

財務部 査定の 考え方	・積算内容の精査
市長査定の 考え方	・財務部査定のとおりに

事業シート(令和2年度予算)

事業名	94710 歴史資料購入事業費	予算	会計	1	一般会計	総合計画	まちづくりの方向性	2	心身の健康と文化、教育で心豊かな暮らしを実現する	市長公約
			款	9	教育費		まちづくり戦略	(5)	歴史伝統の保存、継承、活用	
			項	4	社会教育費		根拠計画		教育振興基本計画	
			目	7	文化財費					
担当課	教育委員会事務局 文化財課	内線	2977							

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	・郷土に関わる歴史資料の流失、散逸を防ぐとともに、市民の郷土学習に役立てる。	概要	・郷土に関わる歴史資料を購入する。
----	--	----	-------------------

総合計画等 主な指標	H30実績	H31実績	R6目標

2.事業の実施結果等(Do)

(千円)

歳出事業費 (職員人件費を除く)	H30			H31		
	最終予算	決算(a)	当初予算(c)	最終予算	決算(b)	増減(b)-(a)
	9,100	9,039	1,000			
特定財源						
国費()						
県費()						
その他()						
一般財源	9,100	9,039	1,000			
個票枝番	主な事業内容					
	歴史資料等の購入	9,100	9,039	1,000		

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

4.令和2年度予算編成(Action)

(千円)

R2予算		実施計画額	
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減(d)-(c)
1,000	1,000	1,000	0
1,000	1,000	1,000	0
査定額	説明		
1,000			

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.平成30年度事業実績、評価等(Check) R1.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> 郷土に関わる歴史資料の購入 購入資料件数 10件 流出、散逸を防いだ件数 10件 土地の公有地化 古墳周辺土地の買戻し 1件
評価等	<ul style="list-style-type: none"> 郷土に関係する貴重な資料の流出、散逸が防がれ、公有化により展示公開や研究等への活用がなされた。
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> 継続的に郷土の歴史資料の購入を進める。 飛騨高山まちの博物館などの教育施設での展示を通じて、市民への公開を実施する。 学校などへ、資料の活用に向けた情報提供を行う。
	<input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> H30完了 <input type="checkbox"/> H31完了予定

5.平成31年度事業実績、評価等(Check) R2.8実施

事業実績	
評価等	
次年度以降の考え方(担当課)	<input type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> H31完了 <input type="checkbox"/> R2完了予定

担当課 予算要求 ポイント	・郷土の歴史資料の流失・散逸の防止及び市民の郷土学習のための歴史資料等の購入に必要な経費を計上
---------------------	---

財務部 査定の 考え方	・要求どおり
-------------------	--------

市長査定 の考え方	・財務部査定のとおりに
--------------	-------------

事業シート(令和2年度予算)

事業名	94720 文化財保護事業費	予算	会計	1	一般会計	総合計画	まちづくりの方向性	2	心身の健康と文化、教育で心豊かな暮らしを実現する	市長公約	多様な文化遺産の保存と利活用による地域活性化を進めます。
			款	9	教育費		まちづくり戦略	(5)	歴史伝統の保存、継承、活用		
			項	4	社会教育費		根拠計画		教育振興基本計画		
			目	7	文化財費						
担当課	教育委員会事務局 文化財課	内線	2356								

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	<ul style="list-style-type: none"> 地域で文化財を保存活用する活動を支援し、文化財の保存を図る。 文化財保護行政の円滑な執行 	概要	<ul style="list-style-type: none"> 文化財保存団体に対する助成 史跡や伝承芸能の保存団体の運営・活動に対する助成 文化財関係の協議会等への参加
----	---	----	---

総合計画等 主な指標	H30実績	H31実績	R6目標

2.事業の実施結果等(Do)

		H30		H31			
		最終予算	決算(a)	当初予算(c)	最終予算	決算(b)	増減(b)-(a)
歳出事業費 (職員人件費を除く)		10,643	9,302	10,999			
特定財源	国費()						
	県費(祭礼復興事業費1/2、県移譲事務交付金)	68	1,085	1,085			
	その他(飛騨高山ふるさと基金繰入金)			100			
一般財源		10,575	8,217	9,814			
個票枝番	主な事業内容						
	文化財保護団体の保存活動事業に対する助成	7,546	6,462	7,732			
	無形文化遺産伝承事業補助金	2,000	2,000	2,000			

4.令和2年度予算編成(Action)

R2予算		実施計画額	
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減(d)-(c)
12,199	12,175	12,175	1,176
1,085	1,197	1,197	112
	100	100	0
11,114	10,878	10,878	1,064
要求額	説明		
8,908			
2,000			

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.平成30年度事業実績、評価等(Check) R1.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> 補助件数 57件 伝統的建造物群保存地区保存会 11団体 高山祭屋台管理 1団体 からくり屋台管理技術伝承保存 1団体 高山祭屋台保存技術後継者育成 1団体 伝承芸能保存団体 20団体 市指定文化財管理 2団体 史跡保存団体 12団体 国指定文化財管理 8団体 無形文化遺産保存団体 1団体
評価等	<ul style="list-style-type: none"> 伝承芸能の継承や史跡の整備など、活動団体の積極的な文化財保護活動が行われ、多くの活動団体に利用されている。
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> 保存団体と意見交換を行い、情報提供を行うなどの連携を図る。

5.平成31年度事業実績、評価等(Check) R2.8実施

事業実績	
評価等	
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> H30完了 <input type="checkbox"/> H31完了予定

担当課 予算要求 ポイント	<ul style="list-style-type: none"> 地域文化継承への支援に必要な経費を計上 伝承芸能保存団体等に対する助成に必要な経費を計上
---------------------	---

財務部 査定の 考え方	<ul style="list-style-type: none"> 積算内容の精査
-------------------	---

市長査定 の考え方	<ul style="list-style-type: none"> 財務部査定のとおり
--------------	---

事業シート(令和2年度予算)

事業名	94725 指定文化財保存修理事業費	予算	会計	1	一般会計	総合計画	まちづくりの方向性	2	心身の健康と文化、教育で心豊かな暮らしを実現する	市長公約
			款	9	教育費		まちづくり戦略	(5)	歴史伝統の保存、継承、活用	
			項	4	社会教育費		根拠計画		教育振興基本計画	
			目	7	文化財費					
担当課	教育委員会事務局 文化財課	内線	2356							

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	・国・県・市指定文化財を保護し次代に伝える。	概要	・指定文化財の保存修理に対する助成
----	------------------------	----	-------------------

総合計画等 主な指標	H30実績	H31実績	R6目標

2.事業の実施結果等(Do)

(千円)

歳出事業費 (職員人件費を除く)	H30			H31		
	最終予算	決算(a)	当初予算(c)	最終予算	決算(b)	増減(b)-(a)
	5,000	4,146	5,100			
特定財源						
国費()						
県費(県指定文化財修理事業費2/3)						
その他()						
一般財源	5,000	4,146	5,100			
個票枝番	主な事業内容					
	指定文化財の保存修理事業に対する助成					
	5,000	4,146	4,600			
			500			

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

4.令和2年度予算編成(Action)

(千円)

R2予算		実施計画額	
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減(d)-(c)
12,864	13,000	13,000	7,900
1,430	1,430	1,430	1,430
11,434	11,570	11,570	6,470
査定額	説明		
10,100			
700			
2,200			

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.平成30年度事業実績、評価等(Check) R1.8実施

事業実績	・市指定文化財 立岩神社のとの木、田上家住宅板塀・自動火災報知設備、岩船の滝お堂、玉水神社のスギの木
評価等	・各文化財の状態を把握し、優先順位を決め、計画的に取り組む必要がある。
次年度以降の考え方(担当課)	<input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> H30完了 <input type="checkbox"/> H31完了予定 ・修理等に対する文化財所有者のニーズは大きく、今後も事業を継続する。

5.平成31年度事業実績、評価等(Check) R2.8実施

事業実績	
評価等	
次年度以降の考え方(担当課)	<input type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> H31完了 <input type="checkbox"/> R2完了予定

担当課 予算要求 ポイント	・指定文化財の存続のための保存修理に必要な経費を計上
---------------------	----------------------------

財務部 査定の 考え方	・積算内容の精査
-------------------	----------

市長査定 の考え方	・財務部査定のとおりに
--------------	-------------

事業シート(令和2年度予算)

事業名	94750 伝統的建造物群保存地区保存事業費	予算	会計	1	一般会計	総合計画	まちづくりの方向性	2	心身の健康と文化、教育で心豊かな暮らしを実現する	市長公約	多様な文化遺産の保存と活用による地域活性化を進めます。	
			款	9	教育費		まちづくり戦略	(5)	歴史伝統の保存、継承、活用			
			項	4	社会教育費		根拠計画		教育振興基本計画			
			目	7	文化財費							
担当課	教育委員会事務局 文化財課	内線	2356									

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	・伝建地区内における伝建物の保存整備及び非伝建物の景観復元を行い、伝統的な景観を維持する。	概要	・伝建地区内における伝建物の修理及び非伝建物の修景事業に対する助成等
----	---	----	------------------------------------

総合計画等 主な指標	H30実績	H31実績	R6目標
重要伝統的建造物群保存地区内の修理・修景の実施済割合	68.3%		90%

2.事業の実施結果等(Do)

(千円)

歳出事業費 (職員人件費を除く)		H30		H31		
		最終予算	決算(a)	当初予算(c)	最終予算	決算(b)
		40,500	38,884	40,500		
特定財源	国費 (伝統的建造物群保存地区保存事業費1/2)	20,000	19,192	20,000		
	県費 ()					
	その他()					
一般財源		20,500	19,692	20,500		
個票枝番	主な事業内容					
	伝統的建造物群保存地区修理修景事業に対する助成	39,900	38,302	39,900		

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

4.令和2年度予算編成(Action)

(千円)

R2予算		実施計画額		40,500
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減(d)-(c)	
43,596	40,500	40,500	0	
21,548	20,000	20,000	0	
22,048	20,500	20,500	0	
査定額	説明			
39,900	伝統的建造物群保存地区保存条例に基づく補助			

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.平成30年度事業実績、評価等(Check) R1.8実施

事業実績	・修理、修景 9件
評価等	・保存計画に基づき修理・修景を行い、町並み景観の整備を推進した。
次年度以降の考え方(担当課)	・保存計画に基づき、今後も継続実施する。 <input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> H30完了 <input type="checkbox"/> H31完了予定

5.平成31年度事業実績、評価等(Check) R2.8実施

事業実績	
評価等	
次年度以降の考え方(担当課)	<input type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> H31完了 <input type="checkbox"/> R2完了予定

担当課 予算要求 ポイント	・歴史的町並保存の推進に必要な経費を計上 ・伝統的建造物群保存地区保存対策に対する助成に必要な経費を計上 ・伝統的建造物群保存対策調査に必要な経費を計上
---------------------	--

財務部 査定の 考え方	・積算内容の精査
市長査定 の考え方	・財務部査定のとおり

事業シート(令和2年度予算)

事業名	94755 伝統的建造物群保存地区防災対策事業費	予算	会計	1	一般会計	総合計画	まちづくりの方向性	2	心身の健康と文化、教育で心豊かな暮らしを実現する	市長公約	多様な文化遺産の保存と活用による地域活性化を進めます。	
			款	9	教育費		まちづくり戦略	(5)	歴史伝統の保存、継承、活用			
			項	4	社会教育費		根拠計画		教育振興基本計画			
			目	7	文化財費							
担当課	教育委員会事務局 文化財課	内線	2356									

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	・伝建地区を災害に強い町並とするために、伝建地区の土蔵の修理や防災設備の整備を継続して実施し、防火能力の向上を図る。	概要	・伝建地区内の土蔵等修理事業に対する補助、防災設備の整備等
----	--	----	-------------------------------

総合計画等 主な指標	H30実績	H31実績	R6目標
重要伝統的建造物群保存地区内の修理・修景の実施済割合	68.3%		90%

2.事業の実施結果等(Do)

歳出事業費 (職員人件費を除く)		H30			H31		
		最終予算	決算(a)	当初予算(c)	最終予算	決算(b)	増減(b)-(a)
		38,560	30,626	40,220			
特定財源	国費(伝統的建造物群保存地区保存事業費1/2)	19,000	15,289	20,000			
	県費()						
	その他(飛騨高山ふるさと基金繰入金)	1,000	1,000				
一般財源		18,560	14,337	20,220			
個票枝番	主な事業内容						
	伝統的建造物群保存地区防災対策事業(土蔵修理)に対する助成	29,500	22,334	39,900			
	観光拠点形成重点支援事業	8,600	8,159				
	高山市政記念館耐震補強工事設計						

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

4.令和2年度予算編成(Action)

R2予算		実施計画額		40,200
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減(d)-(c)	
40,205	40,200	40,200	△ 20	
19,998	19,900	19,900	△ 100	
20,207	20,300	20,300	80	
査定額	説明			
35,400	伝統的建造物群保存地区保存条例に基づく補助			
4,500				

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.平成30年度事業実績、評価等(Check) R1.8実施

事業実績	・土蔵等修理事業への補助 4件 ・吉島家住宅土蔵修理 1件
評価等	・保存計画や防災計画、様々な伝建地区の調査報告などを基に保存修理を行った。
次年度以降の考え方(担当課)	<input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> H30完了 <input type="checkbox"/> H31完了予定 ・保存計画、防災計画に基づき、今後も継続して実施する。 ・伝統構法木造建築物耐震化マニュアルの普及・啓発を進める。

5.平成31年度事業実績、評価等(Check) R2.8実施

事業実績	
評価等	
次年度以降の考え方(担当課)	<input type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> H31完了 <input type="checkbox"/> R2完了予定

担当課 予算要求 ポイント	・歴史的町並保存の推進に必要な経費を計上 ・伝統的建造物群保存地区保存対策に対する助成に必要な経費を計上 ・高山市政記念館耐震補強工事の設計監理業務委託に必要な経費を計上
---------------------	---

財務部 査定の 考え方	・積算内容の精査
-------------------	----------

市長査定 の考え方	・財務部査定のとおり
--------------	------------

事業シート(令和2年度予算)

事業名	94757 伝統的建造物群保存地区拡大事業費	予算	会計	1	一般会計	総合計画	まちづくりの方向性	2	心身の健康と文化、教育で心豊かな暮らしを実現する	市長公約
			款	9	教育費		まちづくり戦略	(5)	歴史伝統の保存、継承、活用	
			項	4	社会教育費		教育振興基本計画			
			目	7	文化財費		根拠計画			
担当課	教育委員会事務局 文化財課	内線	2356							

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	・優れた歴史的景観を後世に残すとともに、市民による地域の歴史遺産に対する誇りと愛着を高める。また、国の支援を得て保存整備と活用を図る。	概要	・伝統的建造物群保存地区の拡大に向けた町並み調査の実施 ・国への選定申し出に必要な手続き
----	---	----	---

総合計画等 主な指標	H30実績	H31実績	R6目標
保存対策調査、選定	-	-	伝建選定

2.事業の実施結果等(Do)

(千円)

歳出事業費 (職員人件費を除く)		H30		H31		
		最終予算	決算(a)	当初予算(c)	最終予算	決算(b)
特定財源	国費(伝統的建造物群保存地区保存事業費1/2)					
	県費()					
	その他(飛騨高山ふるさと基金繰入金)					
一般財源						
個票枝番	主な事業内容					
◎1	伝統的建造物群保存地区拡大調査					

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

4.令和2年度予算編成(Action)

(千円)

R2予算		実施計画額		3,100
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減(d)-(c)	
3,100	3,100	3,100	3,100	
1,550	1,500	1,500	1,500	
	700	700	700	
1,550	900	900	900	
査定額	説明			
3,100				

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.平成30年度事業実績、評価等(Check) R1.8実施

事業実績	
評価等	
次年度以降の考え方(担当課)	<input type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> H30完了 <input type="checkbox"/> H31完了予定

5.平成31年度事業実績、評価等(Check) R2.8実施

事業実績	
評価等	
次年度以降の考え方(担当課)	<input type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> H31完了 <input type="checkbox"/> R2完了予定

担当課 予算要求 ポイント	・大学等研究機関への委託による町並み保存対策調査の経費を計上 ・対象地域 高山市大門町、桜町、下一之町、鉄砲町、若達町、愛宕町、天性寺町、宗猷寺町、吹屋町、堀端町、馬場町 他
---------------------	---

財務部 査定の 考え方	・要求どおり
市長査定 の考え方	・財務部査定のとおりに

主要事業個票(令和2年度予算)

事業名	94757 伝統的建造物群保存地区拡大事業費	区分	<input type="checkbox"/> H31新規	<input checked="" type="checkbox"/> R2新規	会計	1	一般会計	担当課	教育委員会 文化財課
枝番・内容	1 伝統的建造物群保存地区拡大調査		<input type="checkbox"/> H31拡充	<input type="checkbox"/> R2拡充	款	9	教育費		
			<input type="checkbox"/> その他重要事業		項	4	社会教育費	内線	2355
			<input type="checkbox"/> H30新規・拡充		目	7	文化財費	作成年月	R1.10

事業の目的・概要(Plan)

目的	<ul style="list-style-type: none"> 文化財保護法に基づく保存対象となることにより、優れた歴史的景観を後世に残す。 国の文化財として認められることで、市民による地域の伝統文化に対する愛着を高める。 国の支援を得て保存整備と活用を進める。 	概要	・伝統的建造物群保存地区の拡大を目指し、町並み調査の実施、国への選定申し出に必要な手続きを進める。
----	---	----	---

[参考] H30決算(Do-Check) R1.8時点 (千円)

予算額	当初	
	繰越	
	補正等	
	最終	
決算額		
対前年度増減額(決算)		

[参考] H31当初予算(Action) H31.3時点 (千円)

予算額	当初	
主な経費		
対前年度増減額(当初予算)		

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合あり

H31決算(Do-Check) R2.8時点 (千円)

予算額	当初	
	繰越	
	補正等	
	最終	
決算額		
対前年度増減額(決算)		

R2当初予算(Action) (千円)

予算額	当初	3,100
主な経費		
対前年度増減額(当初予算)		3,100

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合あり

事業実績・評価等	
次年度以降の考え方(担当課)	<input type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> H30完了 <input type="checkbox"/> H31完了予定

事業内容・スケジュール	

事業実績・評価等	
次年度以降の考え方(担当課)	<input type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> H31完了 <input type="checkbox"/> R2完了予定

事業内容・スケジュール	
・内容 大学等研究機関に委託し、町並み保存対策調査を実施する。その結果を踏まえ、対象地域の中から保存地区を決定する。 ・対象地域 高山市大門町、桜町、下一之町、鉄砲町、若達町、愛宕町、天性寺町、宗猷寺町、吹屋町、堀端町、馬場町 他	
[スケジュール]	
・R2～R3 調査事業 ・R4～R5 住民説明、選定申し出手続き ・R6 選定告示	

事業シート(令和2年度予算)

事業名	94760 歴史遺産等保存活用事業費	予算	会計	1	一般会計	総合計画	まちづくりの方向性	2	心身の健康と文化、教育で心豊かな暮らしを実現する	市長公約	多様な文化遺産の保存と利活用による地域活性化を進めます。
			款	9	教育費		まちづくり戦略	(5)	歴史伝統の保存、継承、活用		
			項	4	社会教育費		根拠計画		教育振興基本計画		
			目	7	文化財費						
担当課	教育委員会事務局 文化財課	内線	2354								

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	<ul style="list-style-type: none"> 歴史文化遺産の活用や歴史街道の整備等により、郷土の歴史や文化を次代に伝える。 文化財指定されていない文化遺産や郷土の歴史文化などの保存、継承を支援するための制度を創設する。 記念物を良好な状態で保存管理するための環境を整備する。 美しいふるさと認証制度による郷土愛の醸成や保護活動を促進する。 	概要	<ul style="list-style-type: none"> 歴史街道の調査・整備を行う。 伝統的建造物及びその周辺環境や無形文化遺産の調査、記録を行う。 ふるさと伝承記録として、伝承芸能等の映像記録を制作する。 文化財標柱・説明看板等を整備する。 美しいふるさと認証団体の募集と認証。
----	---	----	--

総合計画等 主な指標	H30実績	H31実績	R6目標
美しいふるさとの認証団体数(累計)	127		200

2.事業の実施結果等(Do)

(千円)

歳出事業費 (職員人件費を除く)	H30		H31			
	最終予算	決算(a)	当初予算(c)	最終予算	決算(b)	増減(b)-(a)
	18,312	14,663	11,700			
特定財源						
国費 (歴史的建造物調査事業費1/2)		3,998	1,050			
県費 (祭屋台及び伝統文化保存・復刻調査事業費1/2、地域プライド創出事業費1/2)		1,600				
その他(飛騨高山ふるさと基金繰入金、景観まちづくり刷新事業雑入)	6,300	1,702	1,900			
一般財源	12,012	7,363	8,750			
個票枝番	主な事業内容					
	ふるさと伝承記録制作	1,000	167	1,000		
	歴史街道調査・整備	1,000	441	1,000		
	日本遺産の活用	11,800	10,601	4,000		
	高山祭屋台等の復刻・保存に向けた調査	2,000	1,404	2,000		
	歴史講座の開講			350		
	市指定文化財の国指定に向けた調査			2,100		
	歴史遺産、伝統文化保存活用事業	2,380	2,050	1,250		

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

4.令和2年度予算編成(Action)

(千円)

R2予算		実施計画額	
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減(d)-(c)
6,247	6,230	6,230	△ 5,470
275	270	270	△ 780
	2,800	2,800	900
5,972	3,160	3,160	△ 5,590
査定額	説明		
1,000			
500			
2,700			
300			
550			
1,180			

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.平成30年度事業実績、評価等(Check) R1.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> 美しいふるさと認証 8団体 天然記念物保護管理(臥龍のサクラ、小島岬ミズバショウを含む湿原植物群) 文化財説明看板等製作 3箇所 ふるさと伝承記録制作 1件(朝日青屋獅子、西洞獅子)(歴史的風致維持向上委員会にて実施) 無形文化遺産、日本遺産の活用(AR看板の整備 7箇所)
評価等	・地域の貴重な歴史遺産の保護・保存が図られ、郷土学習への活用や伝統文化の継承、保護意識の高まりがみられた。
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> 多言語化表記の普及も踏まえつつ、計画的な説明看板等の設置を全市的に行っていく。 引き続きふるさと伝承記録として、地域の貴重な無形民俗文化財等の伝承記録を制作する。 引き続き美しいふるさと認証団体の募集と認証を行う。 歴史街道整備については、今後も計画的に実施する。 日本遺産の活用を推進する。

- 維持・改善
- 拡大
- 縮小
- 廃止検討
- H30完了
- H31完了予定

5.平成31年度事業実績、評価等(Check) R2.8実施

事業実績	
評価等	
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> H31完了 <input type="checkbox"/> R2完了予定

担当課 予算要求 ポイント	<ul style="list-style-type: none"> 伝統文化や文化財等の調査・記録による保存・継承と活用の取組に必要な経費を計上 高山城VR展示作成に必要な経費を計上
---------------------	--

財務部 査定の 考え方	・積算内容の精査
市長査定 の考え方	・財務部査定のとおりに

事業シート(令和2年度予算)

事業名	94770 高山祭屋台保存修理事業費	予算	会計	1	一般会計	総会計画	まちづくりの方向性	2	心身の健康と文化、教育で心豊かな暮らしを実現する	市長公約	多様な文化遺産の保存と利活用による地域活性化を進めます。
			款	9	教育費		まちづくり戦略	(5)	歴史伝統の保存、継承、活用		
			項	4	社会教育費		根拠計画		教育振興基本計画		
			目	7	文化財費						
担当課	教育委員会事務局 文化財課	内線	2354								

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	・江戸時代から続く日本有数の祭の一つとして数えられる高山祭の宝として、後世に残していく。	概要	・緊急に修理が必要なものから、順次修理を行う。
----	--	----	-------------------------

総合計画等 主な指標	H30実績	H31実績	R6目標
「文化財や伝承芸能が保存・継承され、郷土の歴史文化に誇りを持っている」と感じている市民の割合	78.3%		↗

2.事業の実施結果等(Do)

(千円)

歳出事業費 (職員人件費を除く)	H30			H31		
	最終予算	決算(a)	当初予算(c)	最終予算	決算(b)	増減(b)-(a)
	40,000	38,918	40,000			
特定財源	国費 (高山祭屋台等保存修理事業費1/2)	20,000	19,458	20,000		
	県費 (無形文化遺産保存修理事業補助金)	5,000	5,000	5,000		
	その他(高山祭屋台等保存修理事業費寄附金、飛騨高山ふるさと基金繰入金)	8,000	5,891	4,600		
一般財源	7,000	8,569	10,400			
個票枝番	主な事業内容					
	高山祭屋台・屋台蔵の修理	40,000	38,918	40,000		

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

4.令和2年度予算編成(Action)

(千円)

R2予算		実施計画額		40,000
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減(d)-(c)	
39,536	40,000	40,000	0	
19,768	20,000	20,000	0	
5,000	5,000	5,000	0	
3,953	4,100	4,100	△ 500	
10,815	10,900	10,900	500	
査定額	説明			
40,000				

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.平成30年度事業実績、評価等(Check) R1.8実施

事業実績	・大国台、宝珠台、八幡鳳凰台、龍神台、麒麟台、布袋台 修理 ・五台山屋台蔵 修理
評価等	・国指定重要有形民俗文化財を維持するため、地元や文化庁との調整を行い、計画的に事業を実施した。
次年度以降の考え方(担当課)	<input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> H30完了 <input type="checkbox"/> H31完了予定

5.平成31年度事業実績、評価等(Check) R2.8実施

事業実績	
評価等	
次年度以降の考え方(担当課)	<input type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> H31完了 <input type="checkbox"/> R2完了予定

担当課 予算要求 ポイント	・国指定重要有形民俗文化財高山祭屋台及び屋台蔵の計画的な保存修理の実施に必要な経費を計上
---------------------	--

財務部 査定の 考え方	・積算内容を精査
-------------------	----------

市長査定 の考え方	・財務部査定のとおりに
--------------	-------------

事業シート(令和2年度予算)

事業名	94780 市史編纂事業費	予算	会計	1	一般会計	総合計画	まちづくりの方向性	2	心身の健康と文化、教育で心豊かな暮らしを実現する	市長公約
			款	9	教育費		まちづくり戦略	(5)	歴史伝統の保存、継承、活用	
			項	4	社会教育費		根拠計画		教育振興基本計画	
			目	7	文化財費					
担当課	教育委員会事務局 文化財課	内線	2977							

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	・郷土の歴史を次代に伝える。	概要	・高山市史の編纂、刊行 ・編纂調査成果の公開、活用
----	----------------	----	------------------------------

総合計画等 主な指標	H30実績	H31実績	R6目標

2.事業の実施結果等(Do)

歳出事業費 (職員人件費を除く)		H30		H31		
		最終予算	決算(a)	当初予算(c)	最終予算	決算(b)
		10,434	9,807	10,434		
特定財源	国費()					
	県費()					
	その他(市史編纂事業雑入)	500	492	500		
一般財源		9,934	9,315	9,934		
個票枝番	主な事業内容					
	新高山市史の編纂、発行	10,034	9,791	10,034		
	古文書解説等指導	400	16	400		

4.令和2年度予算編成(Action)

R2予算		実施計画額	
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減(d)-(c)
5,222	5,624	5,624	△ 4,810
500	500	500	0
4,722	5,124	5,124	△ 4,810
査定額	説明		
5,504			
120			

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.平成30年度事業実績、評価等(Check) R1.8実施

事業実績	・市史本編として「近・現代編」1巻300冊を発刊した。
評価等	・市史編纂の調査成果を活用した講座等の開催により、市民の郷土の歴史文化に対する関心を高めた。
次年度以降の考え方(担当課)	<input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> H30完了 <input type="checkbox"/> H31完了予定

5.平成31年度事業実績、評価等(Check) R2.8実施

事業実績	
評価等	
次年度以降の考え方(担当課)	<input type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> H31完了 <input type="checkbox"/> R2完了予定

担当課 予算要求 ポイント	・市史に関する講演会や講座の開催に必要な経費を計上
---------------------	---------------------------

財務部 査定の 考え方	・積算内容の精査
-------------------	----------

市長査定 の考え方	・財務部査定のとおりに
--------------	-------------

事業シート(令和2年度予算)

事業名	94800 飛騨高山まちの博物館管理事業費	予算	会計	1	一般会計	総合計画	まちづくりの方向性	2	心身の健康と文化、教育で心豊かな暮らしを実現する	市長公約	多様な文化遺産の保存と利活用による地域活性化を進めます。
			款	9	教育費		まちづくり戦略	(5)	歴史伝統の保存、継承、活用		
			項	4	社会教育費		根拠計画		教育振興基本計画		
			目	8	文化財施設費						
担当課	教育委員会事務局 文化財課	内線	2977								

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	<ul style="list-style-type: none"> 市民や観光客が気軽に集い憩う中で、城下町高山の歴史や文化に触れることにより、郷土愛の醸成を図る 観光客に高山の歴史を感じてもらうことで高山の魅力を知ってもらい、リピーターを増やす。 	概要	<ul style="list-style-type: none"> 城下町高山を中心とした歴史文化について資料収集、調査研究、展示、教育普及などの活動を行う。
----	---	----	---

総合計画等 主な指標	H30実績	H31実績	R6目標
飛騨高山まちの博物館の来館者数(年間)	179,806		232,000
文化財や伝承芸能が保存・継承され、郷土の歴史文化に誇りを持っている」と感じている市民の割合	78.3		↗

2.事業の実施結果等(Do)

(千円)

歳出事業費 (職員人件費を除く)	H30			H31		
	最終予算	決算(a)	当初予算(c)	最終予算	決算(b)	増減(b)-(a)
	27,244	22,430	30,193			
特定財源						
国費()						
県費()		126				
その他(文化財施設使用料)	45	7	45			
一般財源	27,199	22,297	30,148			
個票枝番	主な事業内容					
	飛騨高山まちの博物館の管理運営・特別展の開催	26,963	22,149	26,193		
	施設整備	281	281	4,000		

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

4.令和2年度予算編成(Action)

(千円)

R2予算		実施計画額	
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減(d)-(c)
19,856	19,590	19,590	△ 10,603
43	45	45	0
19,813	19,545	19,545	△ 10,603
査定額	説明		
19,590			

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.平成30年度事業実績、評価等(Check) R1.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> 特別展、企画展を開催 5回 歴史講座、体験教室等を開催 15回 施設利用者数 来館者数 179,806人 研修室利用者数 3,823人 閲覧室利用者数 1,267人
評価等	<ul style="list-style-type: none"> 郷土教育を推進する教育施設として、また伝統的建造物群や城下町景観重点地域などの歴史的風致の維持向上の拠点施設としての運営を行った。 県博物館の移動展の実施
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> 博物館の資料収集・調査研究の成果を、展示・講演会などで市民・来館者へ還元する。 館内の案内表示を増やし、計画的に常設展示のリニューアルを行う。

- 維持・改善
- 拡大
- 縮小
- 廃止検討
- H30完了
- H31完了予定

5.平成31年度事業実績、評価等(Check) R2.8実施

事業実績	
評価等	
次年度以降の考え方(担当課)	

- 維持・改善
- 拡大
- 縮小
- 廃止検討
- H31完了
- R2完了予定

担当課 予算要求 ポイント	<ul style="list-style-type: none"> 施設の管理運営や展示に必要な経費を計上 館内の案内表示の増設など、計画的な常設展示の実施に必要な経費を計上
---------------------	--

財務部 査定の 考え方	・積算内容の精査
-------------------	----------

市長査定 の考え方	・財務部査定のとおりに
--------------	-------------

事業シート(令和2年度予算)

事業名	94810 文化財施設管理事業費	予算	会計	1	一般会計	総合計画	まちづくりの方向性	2	心身の健康と文化、教育で心豊かな暮らしを実現する	市長公約
			款	9	教育費		まちづくり戦略	(5)	歴史伝統の保存、継承、活用	
			項	4	社会教育費		根拠計画		教育振興基本計画	
			目	8	文化財施設費					
担当課	教育委員会事務局 文化財課	内線	2356							

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	<ul style="list-style-type: none"> 郷土の歴史に対して、興味、関心を深め、文化財愛護意識を高めるとともに、郷土の歴史を次代に伝える。 収蔵施設での文化財や歴史資料等の適正な保存・管理 発掘調査等出土品の整理・調査研究や考古学関係の講座・学習会等の開催により、郷土の歴史に対する理解を深める。 市有文化財施設等の安全・安心な利用を図る。 	概要	<ul style="list-style-type: none"> 指定管理による文化財施設の運営 文化財収蔵施設等の維持管理 風土記の丘学習センター等の管理運営
----	--	----	---

総合計画等 主な指標	H30実績	H31実績	R6目標
「文化財や伝承芸能が保存・継承され、郷土の歴史文化に誇りを持っている」と感じている市民の割合	78.3%		↗

2.事業の実施結果等(Do)

(千円)

歳出事業費 (職員人件費を除く)	H30			H31		
	最終予算	決算(a)	当初予算(c)	最終予算	決算(b)	増減(b)-(a)
	51,939	48,912	55,106			
特定財源						
国費()						
県費()						
その他(敷地占用料、文化財等公有振興基金繰入金、飛騨高山ふるさと基金繰入金)	194	190	3,694			
一般財源	51,745	48,722	51,412			
個票枝番	主な事業内容					
	文化財施設の管理	49,339	47,266	51,606		
	施設整備	2,600	1,646	3,500		

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

4.令和2年度予算編成(Action)

(千円)

R2予算		実施計画額		54,601
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減(d)-(c)	
54,501	54,601	54,601	△ 505	
194	2,494	2,494	△ 1,200	
54,307	52,107	52,107	695	
査定額	説明			
52,601				
2,000				

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.平成30年度事業実績、評価等(Check) R1.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> 指定管理7施設入館者数 213,638人 風土記の丘学習センター夏休み縄文体験講座の開催 参加者 土器づくり講座 82人 勾玉づくり講座 156人
評価等	<ul style="list-style-type: none"> 資料の収集、展示等を通して、郷土の歴史に触れる場の提供ができた。
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> <input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> H30完了 <input type="checkbox"/> H31完了予定

5.平成31年度事業実績、評価等(Check) R2.8実施

事業実績	
評価等	
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> H31完了 <input type="checkbox"/> R2完了予定

担当課 予算要求 ポイント	<ul style="list-style-type: none"> 指定管理施設をはじめ、文化財施設の管理運営に必要な経費を計上 風土記の丘学習センターの管理運営に必要な経費を計上
---------------------	---

財務部 査定の 考え方	・積算内容の精査
-------------------	----------

市長査定 の考え方	・財務部査定のとおりに
--------------	-------------

事業シート(令和2年度予算)

事業名	94830 飛騨高山まちの体験交流館管理事業費	予算	会計	1	一般会計	総合計画	まちづくりの方向性	2	心身の健康と文化、教育で心豊かな暮らしを実現する	市長公約	・市内観光及び広域観光の交通発着点であり、地産地消や高山の文化なども体験できる拠点空間(観光ハブ拠点)の形成に努めます。 ・地産地消が体験できる拠点空間(施設)の整備に努めます。
			款	9	教育費		まちづくり戦略	(5)	歴史伝統の保存、継承、活用		
			項	4	社会教育費		根拠計画		教育振興基本計画		
			目	8	文化財施設費						
担当課	教育委員会事務局 文化財課	内線	2977								

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	・体験型の施設として運営することにより、「学び」を主体とする飛騨高山まちの博物館と一体的な機能を発揮し、伝統文化伝承の拠点として歴史的風致の維持及び向上を目指す	概要	・伝統的工芸品などの実演、体験、展示並びに文化体験等の実施 ・交流広場の提供による特産品PRイベントやまちなか活性化イベント等の実施
----	--	----	---

総合計画等 主な指標	H30実績	H31実績	R6目標
「文化財や伝承芸能が保存・継承され、郷土の歴史文化に誇りを持っている」と感じている市民の割合	78.3%		↗

2.事業の実施結果等(Do)

		H30			H31		
		最終予算	決算(a)	当初予算(c)	最終予算	決算(b)	増減(b)-(a)
歳出事業費 (職員人件費を除く)		20,922	17,503	23,623			
特定財源	国費()						
	県費()						
	その他(文化財施設使用料)	370	320	435			
一般財源		20,552	17,183	23,188			
個票枝番	主な事業内容						
	飛騨高山まちの体験交流館の管理運営	20,922	17,503	23,623			

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

4.令和2年度予算編成(Action)

R2予算		実施計画額		20,310
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減(d)-(c)	
20,932	20,310	20,310	△ 3,313	
435	435	435	0	
20,497	19,875	19,875	△ 3,313	
査定額	説明			
20,310				

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.平成30年度事業実績、評価等(Check) R1.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> 施設利用者数 来館者数 115,602人 研修室利用者数 358人 交流広場利用者数 16,628人 実演、体験実績 2,643人 交流広場イベント 延べ14日
評価等	・伝統産業や伝承芸能などの振興、市民・観光客の交流と回遊性の向上を図る施設として、実演、体験の運営や交流広場を利用したイベントが実施され、利用促進に努めた。
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> <input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> H30完了 <input type="checkbox"/> H31完了予定

5.平成31年度事業実績、評価等(Check) R2.8実施

事業実績	
評価等	
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> H31完了 <input type="checkbox"/> R2完了予定

担当課 予算要求 ポイント	・飛騨高山まちの体験交流館施設の運営に必要な経費を計上
---------------------	-----------------------------

財務部 査定の 考え方	・積算内容の精査
市長査定 の考え方	・財務部査定のとおりに